



### 〔活動概要〕

私たちの子どもや孫の世代に安心して暮らせる環境を残すため、限りある資源を浪費することなく、持続可能な循環型社会をめざし、ともに語り、考え、出来ることから行動しようと 2007 年 8 月に発足した会です。2008 年 8 月に循生研に出会い、ダンボールコンポストの普及活動に取り組んでいます。

### 〔実践者が 1000 名を超えました〕

現在DCアドバイザーが 4 名になり、活動を始めてから 3 年半で広めた実践者は 1050 名になりました。メンバー全員が川崎市の生ごみリサイクルリーダーとして講習会や区役所ロビーでの相談会に派遣され、市とも連携しながら活動しています。南北に細長い川崎市を走り回っているのが現状ですが、少ないメンバーで川崎市全域に広めていくには限界があると感じ、全労済地域貢献助成事業の助成を受けて、「核」となる人材の発掘を目指して川崎市全 7 区で連続講座を開催しました。講座後の交流会を通してグループや個人との関係を深めつつある状況です。

### 〔学校・施設での取り組みをサポート〕

横浜市の小学校ではダンボールコンポスト 2 年目の挑戦で、出来た堆肥と化学肥料でゴーヤの生育実験をして確かな違いを見せられました。2年越しの働きかけがやっと実って、川崎市麻生区の小学校でもダンボールコンポストで「ごみゼロ」に挑戦し、「エネルギー子どもワークショップ」で発表することになっています。

川崎市のすぎのこ保育園と高石保育園では 1 年前から木枠コンポストによる給食残渣の堆肥化に取り組んでいます。すぎのこ保育園ではこの取り組みがきっかけで野菜の皮や芯は毎日スープとして料理し、調理室の生ごみが年間 1700 kg なくなりました。エコ意識も高まり、取組前年に約 4000kg/年あった園のごみが 1650 kg になり、年間 2350kg (17500 円分)も減量できたと驚いています。

### 〔実験菜園始めました〕

「ダンボールコンポストの堆肥を使って野菜作りをしてみたい」と、2011 年 5 月に代表宅の敷地の一角に 4 坪菜園が誕生しました。6 月からの種まきで今までに小松菜・水菜・ルッコラ・ラディッシュ・モロヘイヤ・加賀大根・白菜を収穫して、小さな循環を体験することが出来ました。



### 〔相談窓口開設 そして 今後のこと〕

誰もが簡単に組み立て、いつでも気軽に相談が出来て、基材を身近なところで入手できるといいな～。そうだ常設の相談窓口があったら！ 思いが叶って、川崎市のほぼ真ん中にある高津市民館の「地球温暖化防止推進室 CC かわさき交流コーナー」作業ブースに 2011 年 5 月から週 1 回「生ごみリサイクル相談窓口」を開設することが出来てメンバー 6 名が交代で対応しています。残念なことに公的な場所なので物品の販売が出来ません。相談窓口なのに 8 ヶ月経って電話もかかってこないし、来訪者もまばらというのが実状です。せめて基材の販売が出来ればと思うのですが…。

まだまだ課題もたくさんある中、活動を始めて 4 年目、実践者も

1000 名を超えた節目で「これから何を指すのか？」走り続けてきた足をチョッと止めてじっくり考える時なのかな～と思っています。まずはメンバー全員でとことん話し合い目標を見定めたいと思います。

